

○ 教科に関する調査の状況

【レーダーチャート】

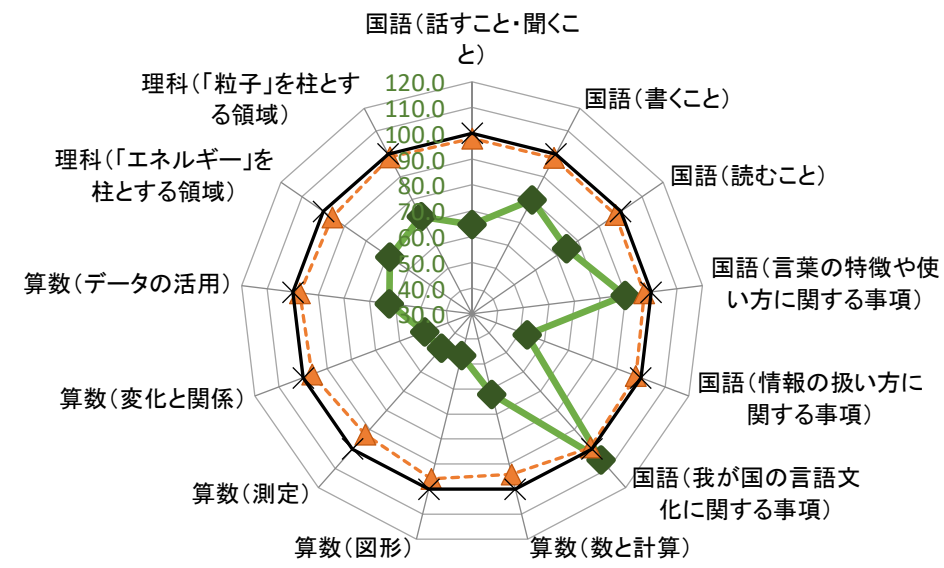
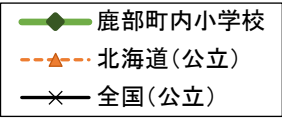
- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

【平均正答率・平均IRTスコア】

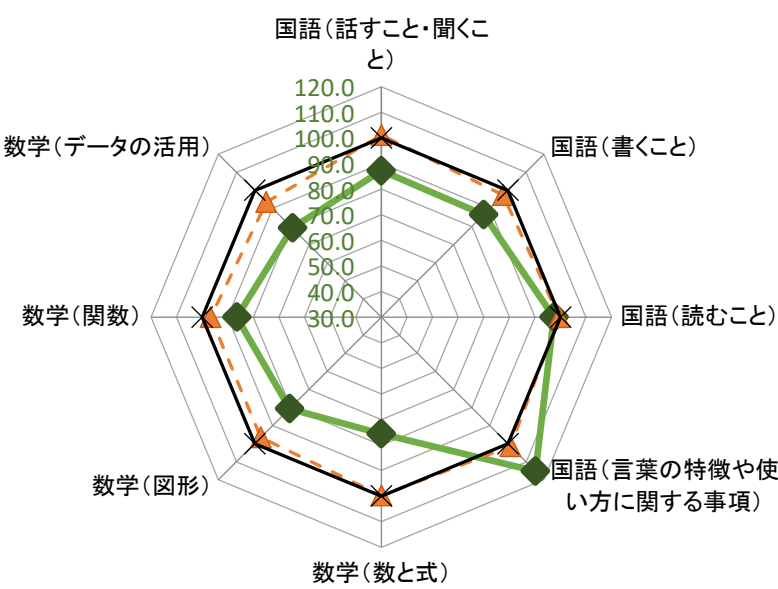
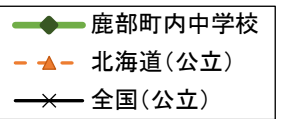
※中学校理科は平均IRTスコア

	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
鹿部町	52	32	45	51	39	501
北海道(公立)	65.4	55.2	56.3	54.0	46.7	505
全国(公立)	66.8	58	57.1	54.3	48.3	503

小学校



中学校

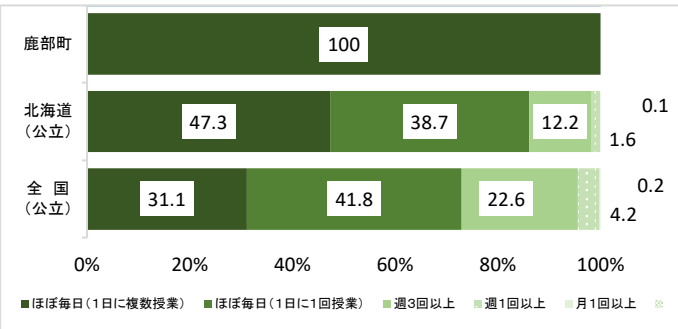


○ 質問調査の状況

小学校

＜学校質問＞

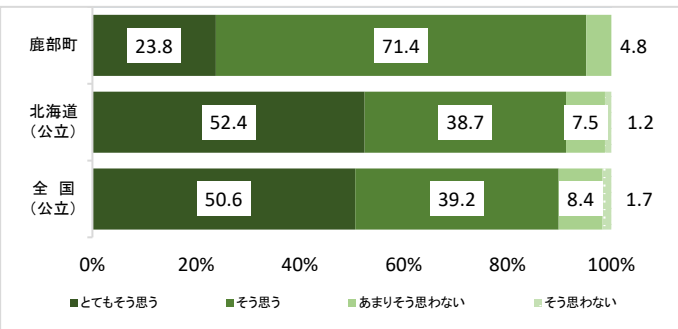
児童が自分で調べる場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



小学校

＜児童質問＞

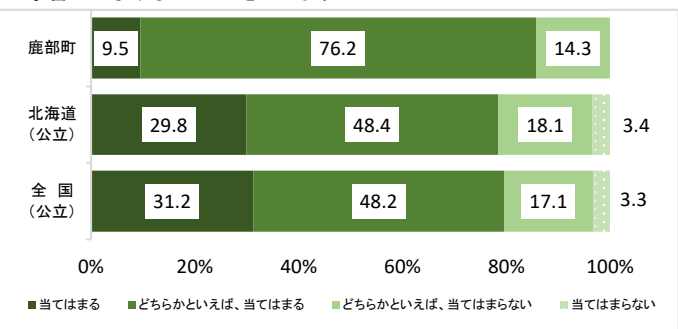
あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思いますか。



小学校

＜児童質問＞

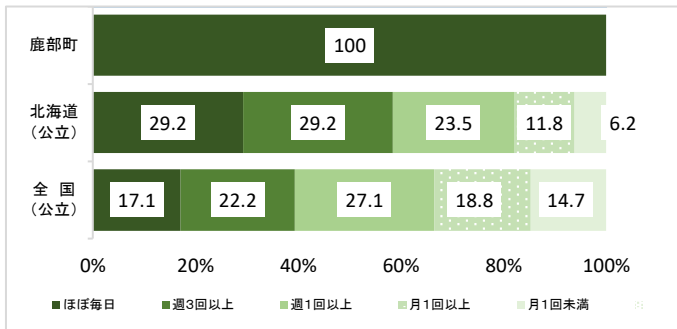
学習した内容について、分かったことや、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか



中学校

＜学校質問＞

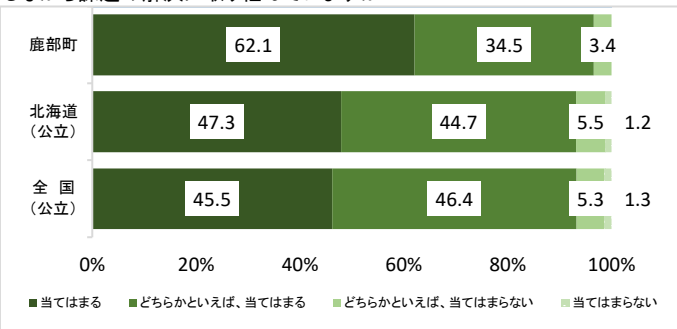
生徒同士がやり取りする場面では、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか



中学校

＜生徒質問＞

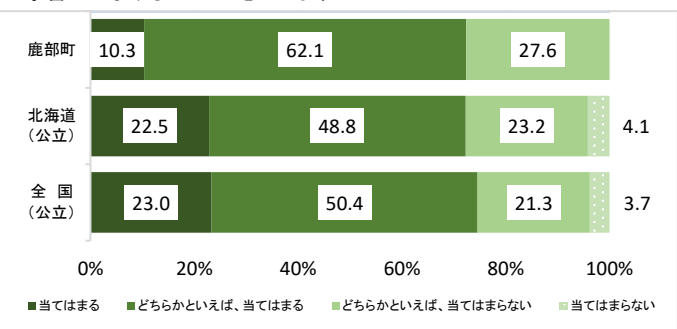
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



中学校

＜生徒質問＞

学習した内容について、分かったことや、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか



○ 調査結果の分析

・小学校において、児童が自分で調べる場面で、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用したことにより、自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができていると回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

・中学校において、生徒同士がやり取りする場面で、生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日活用したことにより、授業や学校生活では、友だちや周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

・小学校国語・算数及び中学校の国語・数学の平均正答率が全国及び全道を下回っている状況は、学習した内容について、分かったことや、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができると回答した、児童及び生徒の割合が全国及び全道を下回っていることが、要因の一つとして考えられる。

○ 今後の改善方策

・学習者用デジタル教科書の効果的な活用を工夫するとともに、子どもたちが学びを振り返る活動を通して主体的に学習することができる授業づくりを推進する。

・AIドリルの充実を図り、ICT端末を活用した家庭学習の習慣化を図る。

・ALTや学習支援員・特別支援教育支援員等、子どもたちの学習をサポートする体制の充実を図る。